

整理番号 06196

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）	Iron powder 鉄粉			
販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
製造者情報	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview Avenue St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		
推奨用途	分析試験用			
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと			

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

区分に該当しない

ラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語： なし

危険有害性情報： なし

注意書き： 【安全対策】 粉じんの蓄積を防止すること。熱、高温の表面、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。容器は密閉しておくこと。

【応急処置】 取り扱った後、手を洗うこと

【保管】 避けるべき物質の近くに保管しないこと

【廃棄】 廃棄物および残留物は、地域の法令・規制に従って処分すること

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物					
化学名	鉄	酸素	炭素	窒素	硫黄	水素
成分および含有量(wt%)	97.5-100	<1.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.005
化学式又は構造式	Fe	O	C	N	S	H
官報公示整理番号	化審法	—				
	安衛法	非該当	非該当*	非該当	非該当*	非該当#
	PRTR 法	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
	毒劇法	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
C A S No	7439-89-6	7782-44-7	7440-44-0	7727-37-9	7704-34-9	1333-74-0

*高圧ガス状ではないため非該当

#裾切値以下

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させること。症状が現れたり持続したりする場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付いた場合	石けんと水で洗い流すこと。刺激が生じて持続する場合は、医師の診察を受けること。
目に入った場合	目をこすらないこと。水で洗浄すること。刺激が生じまたは持続する場合は医師の診察を受けること
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。症状が現れた場合は医師の診察を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	粉じんは呼吸器、皮膚、眼に刺激を生じるおそれがある。
応急措置をする者の保護および医師に対する注意事項	対症療法を行うこと。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素（CO ₂ ）。 消火剤は粉じんの飛散を防ぐよう注意して使用すること。 粉じんと空気の爆発性混合気を形成するおそれがあるため、高圧放水による消火は避けること。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	爆発の危険がある。粉じんの発生を避けること。微細な粉じんが十分な濃度で空気中に分散し、かつ着火源が存在す

消火を行う者の保護	する場合、粉じん爆発を起こすおそれがある。
消化活動時の注意事項	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
特有の消化方法	火災または爆発の場合、燃焼ガスを吸入しないこと。危険を伴わない場合は容器を火災区域から移動させること
一般的な火災危険性	標準的な消火手順に従うとともに、周辺物質の危険性を考慮すること。
	空気中の可燃性粉じん濃度によっては火災を生じるおそれがある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	十分な換気を確保すること。清掃作業時には適切な保護具および保護衣を着用すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	すべての着火源（周辺での喫煙、火炎、火花等）を除去すること。静電気放電に対する予防措置を講じること。火花を発生しない工具を使用すること。粉じんを空気中に飛散させないこと（例：圧縮空気による表面清掃を行わないこと）。HEPA フィルター付き真空掃除機を用いて回収すること。速やかに掃き取り又は真空吸引により清掃すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	粉じんの発生および堆積を最小限に抑えること。粉じんが表面に蓄積しないよう、定期的な清掃を実施すること。粉じんは特定の条件下で爆発性混合気を形成するおそれがある。電氣的接地およびボンディングなどの適切な防爆対策を講じること。また不活性雰囲気下での作業を行うこと。熱、高温表面、火花、裸火およびその他の着火源から遠ざけること。禁煙。適切な個人用保護具を着用すること。長時間又は反復ばく露を避けること。取扱い後は手を十分に洗浄すること。適切な労働衛生管理を実施すること。
安全な保管条件	容器は密閉し、乾燥した冷涼で換気の良い場所に保管すること。混触危険物質から離して保管すること（SDS 第 10 項参照）。

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値	形状
炭素 (CAS 7440-44-0)	PEL	5 mg/m ³	吸入性粒子

鉄粉 P/N: 502-702 502-703

		15 mg/m ³	トータルダスト
US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)			
成分	タイプ	値	形状
炭素 (CAS 7440-44-0)	PEL	5 mg/m ³ 15 mg/m ³ 15 mppcf	吸入性粒子 トータルダスト
US. ACGIH Threshold Limit Values			
成分	タイプ	値	形状
炭素 (CAS 7440-44-0)	TWA	2 mg/m ³	吸入性粒子
US.NIOSH : Pocket Guide to Chemical Hazards			
成分	タイプ	値	形状
炭素 (CAS 7440-44-0)	TWA	2.5 mg/m ³	吸入性
生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。		
設備対策	適切な換気を行うこと。		
保護具			
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。		
皮膚の保護			
手	適切な手袋については、手袋供給業者の推奨に従うこと。		
その他	適切な保護衣を着用する。		
呼吸器の保護	換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用すること。		
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。		
一般的な衛生事項	本製品の取扱い後および飲食・喫煙の前には手洗いをを行うなど、常に適切な個人衛生管理を実施すること。作業着および保護具は定期的に洗浄し、汚染物質を除去すること。		

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状	固体 粉末状
色	灰色
臭い	入手不可
融点・凝固点	1538℃ (推定値)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	2861℃ (推定値)
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可

pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	入手不可
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 危険性情報（安定性・反応性）

反応性	通常の使用条件下では安定であり、反応性はない。
化学的安定度	通常状態で安定
危険有害反応可能性	通常の使用条件下では危険有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	熱、火花及び裸火から遠ざけること。混触危険物質との接触を避けること。粉じんの発生及び堆積を防止すること。
混触危険物質	強酸化剤
有害な分解生成物	既知の危険有害な分解生成物はない。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	粉じんは呼吸器系を刺激するおそれがある。長期間の吸入は有害となるおそれがある。
皮膚	粉じん又は粉末は皮膚を刺激するおそれがある。
眼	粉じんは眼を刺激するおそれがある。
飲み込んだ場合	入手不可
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	粉じんは呼吸器、皮膚及び眼を刺激するおそれがある。
毒物学的影響	

急性毒性 入手不可

成分 種 結果

炭素（CAS 7440-44-0）

急性

経口

LD50

ラット

> 10000 mg/kg

皮膚の腐食性/刺激性

入手不可

重篤な眼の損傷性/眼刺激性

入手不可

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性 入手不可

皮膚感作性 入手不可

生殖細胞変異原性 入手不可

発がん性 入手不可

生殖毒性 入手不可

特定標的臓器毒性（単回暴露） 入手不可

特定標的臓器毒性（反復暴露） 入手不可

誤えん有害性 入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性

成分	種	試験結果
鉄 (CAS 7439-89-6)		
水生		
魚類	LC50 チャンネルキャットフィッシュ	>500mg, 96h
硫黄 (CAS 7704-34-9)		
水生		
魚類	LC50 モスキートフィッシュ	>10000mg/L, 96h
残留性/分解性	データなし	
生態蓄積性	オクタノール／水分配係数 (log Kow)	窒素:0.67
土壌中の移動性	データなし	
オゾン層への有害性	入手不可	
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響(例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性)は考えられていない。	

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	適用されるすべての法令及び規制に従って廃棄すること。
有害廃棄物コード	使用者、製造者および廃棄物処理業者との協議により決定すること。
残余廃棄物/未使用製品	空容器又はライナーには製品残渣が残存している場合がある。本製品及びその容器は安全な方法で廃棄すること。
汚染容器	利用できない

14. 輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15. 適用法令

なし

16. その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(021116) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2025) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2025) GHS に基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法-ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構
NITE-Gmiccs 混合物分類判定システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：令和 8 年 8 月 26 日

改訂：—

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。